



■発行／公益財団法人 愛媛県スポーツ振興事業団

■愛媛県武道館

開館時間／午前9：00～午後9：00

休館日／毎週月曜日（月曜日が休日の場合は、直後の休日でない日）
年未年始

住所／愛媛県松山市市坪西町551番地

T E L／089-965-3111

F A X／089-965-3388

ホームページ／<http://www.ehimekenbudoukan.or.jp>

予約システム／https://www.pref.ehime.jp/s_yoyaku/servlet/Top

第五十六号

TOP I X

- 1 全日本実業団相撲選手権大会・ウクライナ相撲連盟強化合宿を終えて(相撲)
- 2 「愛媛の柔道を考える」～中長期計画の策定に向けて～(柔道)
- 3 武道としての少林寺拳法(少林寺拳法)
- 4 えひめ施設利用予約システムについて

相

撲

Sumou

全日本実業団相撲選手権大会・ウクライナ相撲連盟強化合宿を終えて

執筆／愛媛県相撲連盟 理事長 山口貴史

2020年から新型コロナウイルスの感染拡大により、国内での大会はもとより国際大会等の開催も困難な状況が続いていましたが、2022年に入ってガイドライン等に基づき感染拡大防止対策を徹底して全国大会等が開催されています。

令和4年度は、愛媛県西予市の乙亥会館で「第64回全日本実業団相撲選手権大会」が開催されました。愛媛県相撲連盟が森高康行会長を中心に準備を重ね新型コロナウイルス感染拡大防止策の徹底を図り、3年越しに開催し成功できたことは愛媛県相撲連盟、西予市相撲連盟の役員並びに西予市等関係各位のご尽力があったのことに感謝する次第です。

日本実業団相撲連盟を中心に開催されるこの大会は、今年で64回を数える歴史と伝統のある大会で、愛媛県選手も多数参加しました。中でも、国体でふるさと選手として活躍している「田中大介」選手が所属する日本通運チームが優勝するなど、地元選手の活躍が目立った大会にもなり、誠に意義のある大会となったことは、競技委員長を務めさせていただいた私にとっても思い出に残る大会となりました。



また、戦争のため祖国で相撲の練習ができなくなったワールドゲームズに出場するウクライナ代表選手

が、愛媛県で強化合宿ができるよう当連盟の森高康行会長が働きかけ、「ウクライナ相撲連盟ワールドゲームズ強化合宿in愛媛実行委員会」を立ち上げ、愛媛県及び20市町のご協力をいただき令和4年6月15日～6月28日までの2週間、西予市が主体となり乙亥会館で強化合宿が実施できたことに感謝の気持ちで一杯です。私も愛媛県相撲連盟理事長として実行委員会事務局長に任命され、練習計画及び公開練習、表敬訪問、歓迎会、激励会等可能な限り参加し務めさせていただきました。

国際交流の行事に関わることは私自身貴重な経験でありました。多忙な日々でしたが、成年国体選手たちの協力を得ながらウクライナ代表選手とワールドゲームズへ向けた練習指導や愛媛県実行委員会での交流行事など充実した2週間となりました。令和4年7月7日からアメリカバーミングハム市で開催されたワールドゲームズで、愛媛強化合宿に参加した6名のウクライナ代表選手全員がメダルを獲得するという快挙を成し遂げられました。これは、愛媛での強化合宿が大成功したことに繋がり関わった者として喜ばしく思えました。

結びに、この2大行事を無事に終えたことは、意義深いものがあり愛媛相撲の発展に少しでも繋がるよう、今後も関係各位のご支援、ご協力をいただき微力ながら、取り組みたいと思います。



「愛媛の柔道を考える」～中長期計画の策定に向けて～

執筆／一般財団法人愛媛県柔道協会 理事 梅木 邦加

柔

道

opnd

○ただいま柔道

私は中学校から大学まで部活動で柔道をしていましたが、卒業後は仕事に遊びに、30代からは子育ても加わり、忙しくなる一方。気づけばすっかり柔道から遠ざかってしまいました。

「この先も柔道と離れたままかなあ…」と思っていた昨年、「理事をやってみないか」とのまさかのオファー。長年、柔道の発展に尽力されている先生方が揃う中、この半端モンの私が?!とビックリしていましたが、「柔道から離れていたからこそその視点を活かしてほしい」との口説き文句に心動かされ恐る恐るお引き受けしました。

○中長期計画を作ろう

協会での最初のミッションは、中長期計画を作ることでした。柔道協会の登録人口は、この10年で40%減少しており(自分もその1人でしたが…)、これからは、方向性をもって誰もが柔道を楽しめる環境づくりを進める必要があることが、計画策定の背景にあります。

また、スポーツ庁が策定した「スポーツ団体ガバナンスコード」では「組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである」とあり、定款に加えて中長期的な取組の方向性を示すことで、柔道や協会に対する社会の理解・関心も高めたいと考えています。

○愛媛の柔道を考えるアンケート

計画づくりに向けて、まず、コアメンバー9名が集まりました。実業団、大学、高校、少年柔道のそれぞれの指導者がそろっています。

次に、「愛媛の柔道を考えるアンケート」を12月28

日から1月31日にかけて行いました。柔道を始めたきっかけ・やめたきっかけや、柔道経験のない方も含めて柔道に対するイメージなどを聞きました。また、柔道関係者には、協会の事業についての評価をいただくこととしました。様々な意見が書き込まれ、事業運営をよりよくしたいと思ってくださっている柔道関係者の想いが伝わりました。アンケート結果は取りまとめ中で、これから公表できるよう準備していきます。

○愛媛の柔道を考えるワークショップ

アンケートのあとは、近い将来、愛媛の柔道の中心的存在となる高校生と大学生による「愛媛の柔道を考えるワークショップ」を開催する予定です。ワークショップでは、アンケートの結果を踏まえて、愛媛の柔道をよりよくするための取組アイデアを出し合いたいと考えています。

これももちろん初めての試み。若い選手の率直な意見を計画づくりに取り入れていきたいと思っています。

○柔道いいね!

コアメンバーも皆働き盛りのお年頃、仕事に柔道にと大変忙しい方ばかりですし、前例もない中で、立派な計画は作れないと思いますが、みんなで「愛媛の柔道をどうしたいか」を考えるプロセスに価値があると信じています。お堅くいうと「人口減少、少子高齢化、価値観の多様化といった社会の変化に対応した新しい柔道のあり方を考え実践する」、つまりは「やっぱり柔道っていいね!」に向けて、楽しんで進めていきたいと思っています。

まずは、自分自身がカムバック柔道を実践しないと!!

(一財) 愛媛県柔道協会

柔道経験のない方も
ぜひ声をお寄せください!

愛媛の柔道を考える アンケート

ご協力お願いします

実施期間 2022.12.28 ~ 2023.1.31

QRコードを読み込んで
回答をお願いします

※回答時間は
2分程度です。
(記入なしの場合)



愛媛県柔道協会HPからも回答できます
Q 愛媛県柔道協会にて検索

▲アンケートのチラシ



▲「あいテレビ杯愛媛県女子柔道体重別選手権大会」運営のお手伝いかつてのライバルと約20年ぶりの再会 (著者一番左)

武道としての少林寺拳法

執筆／愛媛県少林寺拳法連盟連盟 愛媛県教職員支部長 合田 雅彦

太平洋戦争終戦後、武道はしばらくの間禁止でしたが戦後、昭和52年4月に日本武道館において九つの武道団体が集まり、日本国内を統括する各武道連盟との融和を図り且つ柔道、剣道、弓道、相撲、空手道、合気道、少林寺拳法、なぎなた、銃剣道を奨励し、精神を高揚すると共に健全な国民の育成に努め、世界の平和と福祉に貢献することを目的とした団体として日本武道協議会が発足しました。

その後、昭和62年4月に武道憲章が作られましたが、その文中に(武道憲章引用)

「武道は、日本古来の尚武の精神に由来し、長い歴史と社会の変遷を経て、術から道に身体を鍛え、心胆を練る修業道・鍛錬法として洗練され発展してきた。このような武道の特性は今日に継承され、旺盛な活力と清新な気風の源泉として日本人の人格形成に少なからざる役割を果たしている。今や武道は、世界各国に普及し、国際的にも強い関心が寄せられている。我々は、単なる技術の修練や勝敗の結果にのみおぼれず、武道の真髄から逸脱することのないよう自省するとともに、このような日本の伝統文化を維持・発展させるよう努力しなければならない。ここに、武道の新たな発展を期し、武道憲章とする」と記されています。

更に平成20年に武道の理念として

「武道とは、武士道の伝統に由来する我が国で体系化された武技の修練による心技一如の運動文化で、柔道、剣道、弓道、相撲、空手道、合気道、少林寺拳法、なぎなた、銃剣道、を修練して心技体を一体として鍛え、人格を磨き、道徳心を高め、礼節を尊重する態度を養う、国家、社会の平和と繁栄に寄与する人間形成の道である」と提唱されました。

最後に平成26年に武道は

「柔道、剣道、弓道、相撲、空手道、合気道、少林寺拳法、なぎなた、銃剣道の九つの総称が武道である」と定義されました。

武道九種目の中の少林寺拳法は、戦後に日本で創始した最も新しい武道です。

創始者である宗道臣・開祖(以下「開祖」と称する)は純粋の日本人であり岡山県作東町の生まれです。宗という姓で中国から来たかと誤解されやすいのですが、以前、マラソン界で活躍した宗兄弟という選手がいましたが、彼らも大分県出身の日本人ですのでご理解いただけます。

開祖が少林寺拳法を創始した動機は、16歳の時、天涯孤独の身となった開祖は、太平洋戦争直前の中国大陸に渡り、建国されたばかりの満州国で、日本の関東軍下の特殊工作員として中国大陸各地で活動中に、中国河南省嵩山少林寺を訪れ、中国人の文老師の下で修行を重ね、北少林義和門拳第二十一代の師父となりました。このことから現在の少林寺拳法のルーツが中国の少林寺に繋がると言っても過言ではありません。

やがて日中戦争が始まり太平洋戦争へと続き、敗

戦間近に日ソ中立不可侵条約を一方的に破棄したソ連軍が中国大陸に侵攻したため、開祖は、ソ連軍の軍政下で敗戦国民の悲惨さを十分に体験しました。その体験の中で「真の平和の達成は慈悲心と勇気と正義感の強い人間を一人でも多く作る以外にはない」と気づいたのです。日本に帰国後、敗戦で人心も土地も荒廃していた祖国を目の当たりにして、その復興のため青少年育成に人生をかけることを決意しました。

昭和22年、「国づくりは人づくりから」として中国で学んだ拳技をもとに、自らの理論による独自の拳法をあみだし、少林寺拳法と名付け、香川県多度津町に創始したのです。少林寺拳法を人づくりの手段として自己確立と他者共榮の教えを説き、理想境建設を目指して、現在でも少林寺拳法の本部は香川県多度津町にあり、全国及び世界各国から多くの拳士が本部へ修練にやってきました。

今年の10月には日本武道館で少林寺拳法世界大会が開催される予定です。



▲愛媛県武道館鏡開き式での演武の様子

納税証明書が
欲しいんやけど



イベント会場を
予約したいなあ



研修会に申し
込みたい



テニスコートを
予約したい!



愛媛県イメージアップキャラクター
みきやん



詳しくはこちらまで▲

手のひら県庁 検索

いつでも、どこでも、 ネットでOK!

手のひら県庁(えひめ電子申請システム・えひめ施設利用システム)

クレジットカード等のオンライン決済は、**令和5年4月1日(土)**から開始いたします。
(窓口でのお支払いは現金のみです。)

■愛媛県武道館施設利用予約についてのお問い合わせ

(公財)愛媛県スポーツ振興事業団 〒790-0948 松山市市坪西町551番地(愛媛県武道館) ☎089-965-3111